有馬記念

第3329号（昭和47年3月28日第三種郵便物認可）

（1）　1993年（平成5年）12月26日　消費税込み定価350円（北海道400円）

12月26日
日曜日版（九紫赤口）



芝 良 ダート 良



劇的なシーンをください　成績入B

Lucky Horse

日刊競馬

5回 中山8日

〒141 東京都品川区大崎1丁目13番17号
株式会社日刊競馬新聞社
発行責任者 真翁久
編集責任者 谷方

チーフTM 宮崎 秀一　南北　チーフTM 篠崎 典行

柏木の単複連

UHFテレビ解説者



▼タフなレガシーワールドは昨年、半年間で10戦目になった4歳時の有馬ﾊﾅ差②着。今年はジャパンCを制するほどパワーアップし、秋に2戦しただけ。まだまだ活力にあふれている。明けて6歳時は世界へ遠征予定だが、まだまだ強くなる可能性大。少々きつい流れでも競る形になったらまずバテない。大逆転なら過去③着ナイスネイチャ▲

9—13
9—12
12—13
6—9
9—11
5—9
4—9
複⑨
単⑨

春先まではどことなくひ弱さのあったヒシハヤヒデが、この秋急成長。大きくパワーアップしてきた。菊花賞でのウイニングチケットとの1秒差はそのまま実力差。古馬相手でもグランプリ最短距離。

菊花賞後ジックリと調整が出来たヒシハヤヒデの状態は文句なし。折り合いがつくようになり、[8]枠13番は全く苦にならない。3～4番手追走の理想的な展開、速い時計での決着で一気に抜け出す。

本紙の見解

《実力に加え競馬過程も絶好 ヒシハヤヒデを信頼！》

▼ここ数年、荒れるレースの代表格にのし上がった感のある有馬記念。その最大の原因はジャパンC創設による、一流馬のローテーションの変化。デリケートなサラブレッドにとって天皇賞秋の激烈の中身だ。▼しかし、今年は違う。実力馬ヒシハヤヒデ、レガシーワールド両馬が、叩き3戦目という理想的なステップで臨んできたからだ。特にヒシハヤヒデは、秋2戦がいずれも楽勝で、消耗こそ、さらに上積みを見込めるほど。上がり3ハロン＝11秒6―34秒5―11秒5―11秒6で、それこそ宙を飛ぶような勢いで駆け抜けた前走菊花賞の強さは別格。より適条件と思える中山二五なら、さらに強い勝ちっぷりを期待していいだろう。ベガ、½馬身差の②着に泣いた菊花賞の内容は良く、JCのレガシーワールドは昨年、半年間で10戦目になった4歳時の有馬ﾊﾅ差②着。今年はジャパンCを制するほどパワーアップし、秋に2戦しただけ。まだまだ活力にあふれている。明けて6歳時は世界へ遠征予定だが、まだまだ強くなる可能性大。少々きつい流れでも競る形になったらまずバテない。大逆転なら過去③着ナイスネイチャ▲

レース展開

馬番連勝
9—13
2—13
2—9
11—13
4—13
6—13
3—13

外 ↑ 内
⑭—⑦⑱④②⑩⑤
⑨⑥⑪⑫—③①
逃げ 好位 中団 後方
平均ペース

【大外枠からパーマーが一気に行くが、岡部⑬、河内⑨も早めに仕掛けて出る展開。例年以上の底力勝負でハイレベル】

9R
枠番連勝
6—8
2—8
2—6
7—8
3—8
波乱含み

前売枠番連勝・単勝オッズ

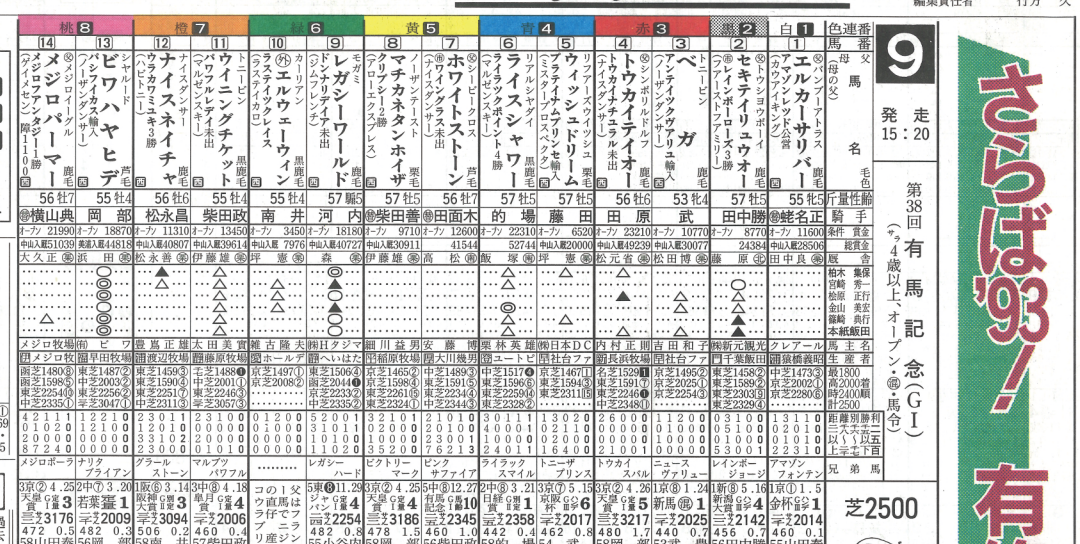
午後4時中央競馬会発表

1	2		3		4		
1 一	1 一		3 60.8		4 118.1		
2 205.8	2 27.7		4 24.0		5 70.3		
3 179.9	3 37.4		5 59.5		6 17.1		
4 202.7	4 84.9		6 11.2		7 21.9		
5 263.2	5 15.9		7 17.6		8 16.4		
6 168.9	6 27.2		8 8.6		5		
7 203.3	7 16.8		6		5 380.3		
8 104.5	8		7 56.5		6 61.6		
8	7		8 8.5		7 10.0		
8 45.7	8		8		8 4.7		
8 46.9	7		6		7 78.7		
⑱⑰⑯⑮⑭⑬⑫⑪⑩⑨⑧⑦⑥⑤④③②①	20 13 24 8 21 5 37 32 9 30 6 11 36 9				5		
	1 5 5 2 1 1 2 8 6 8 7 5 5						

データ

過去の実績　4 6 14 9 13
距離適性　9 13 6 14 4
最近の成績　9 11 3 11 3
攻め馬状態　9 2 11 13 3

馬番	馬名	毛色	性齢	斤量	騎手
1	エルカーサリバー	鹿毛	牡5	55	⑭メジロ名正
2	セキテイリュウオー	鹿毛	牡5	56	田中勝
3	ベガ	鹿毛	牝5	53	武
4	トウカイテイオー	鹿毛	牡6	53	田原
5	ウイニングチケット	黒鹿毛	牡6	56	的場
6	ライスシャワー	黒鹿毛	牡7	57	的場
7	ホワイトストーン	芦毛	牡7	56	田中心
8	マチカネタンホイザ	栗毛	牡5	57	⑭柴田善
9	レガシーワールド	鹿毛	牡4	57	河内
10	エルウェーウィン	黒鹿毛	牡4	55	南井
11	ウイニングチケット	黒鹿毛	牡4	55	柴田政
12	ナイスネイチャ	鹿毛	牡4	55	松永昌
13	ビワハヤヒデ	芦毛	牡4	55	岡部
14	メジロパーマー	鹿毛	牡7	55	⑭横山典



9R

第38回 有馬記念（GⅠ）
（ｻﾗ4歳以上・オープン・㊒・馬令）
発走 15：20

芝2500



有馬記念レコード
2分30秒6
ダイユウサク
56勝 沢 3年

〔今回推定タイム〕
良 2分32秒台
重 2分35秒台

〔成績の見方〕
①5中⑧12･23
②勝ち名簿
③三走 2342
④4 9 4 0.1
⑤56 豊
⑥16.8/4 ▶
⑦6.13/12 平均
⑧中位差 35.0
⑨メジロイグ

◎場所(馬場状態)月日
◎競走名 条件 着順
◎距離 時計
◎体重 秒差
◎斤量 騎手
◎競馬 枠順 人気
◎通過順 ベース
◎短評 後半3F
◎1着または2着馬名

※体質難の鉄砲実績は初戦及び3ヵ月以上の休養が対象です。

さらば'93！有終の美はハヤヒデが飾る

走	馬番	馬名	性齢	斤量	騎手	厩舎	馬体重	増減	単勝オッズ	人気
1	1	エルカーサリバー	牡5	55	⑭緒名正	本紙飯田	498	-2	10.9	6
2	2	セキテイリュウオー	牡5	56	田中勝	田中良	470	0	4.9	2
3	3	ベガ	牝5	53	武	本紙飯田	444	-2	3.4	1
4	4	トウカイテイオー	牡6	53	田原	本紙飯田	470	0	10.9	6
5	5	ウイニングチケット	牡6	56	的場	藤田	514	+2	15.3	8
6	6	ライスシャワー	牡7	57	的場	藤田	530	+4	53.2	12
7	7	ホワイトストーン	牡7	56	田中心	藤田	536	+2	69.3	13
8	8	マチカネタンホイザ	牡5	57	⑭柴田善	高松	502	+2	15.3	8
9	9	レガシーワールド	牡4	57	河内	藤田	514	+2	3.2	1
10	10	エルウェーウィン	牡4	55	南井	坪憲	470	-2	15.3	8
11	11	ウイニングチケット	牡4	55	柴田政	伊藤雄	514	+2	15.3	8
12	12	ナイスネイチャ	牡4	55	松永昌	伊藤雄	504	-2	15.3	8
13	13	ビワハヤヒデ	牡4	55	岡部	坪憲	504	0	1.8	1
14	14	メジロパーマー	牡7	55	⑭横山典	岡部	504	-2	15.3	8

本紙の見解

《実力に加え競馬過程も絶好 ヒシハヤヒデを信頼！》

▼ここ数年、荒れるレースの代表格にのし上がった感のある有馬記念。その最大の原因はジャパンC創設による、一流馬のローテーションの変化。デリケートなサラブレッドにとって天皇賞秋の激烈の中身だ。▼しかし、今年は違う。実力馬ヒシハヤヒデ、レガシーワールド両馬が、叩き3戦目という理想的なステップで臨んできたからだ。特にヒシハヤヒデは、秋2戦がいずれも楽勝で、消耗こそ、さらに上積みを見込めるほど。上がり3ハロン＝11秒6―34秒5―11秒5―11秒6で、それこそ宙を飛ぶような勢いで駆け抜けた前走菊花賞の強さは別格。より適条件と思える中山二五なら、さらに強い勝ちっぷりを期待していいだろう。ベガ、½馬身差の②着に泣いた菊花賞の内容は良く、JCのレガシーワールドは昨年、半年間で10戦目になった4歳時の有馬ﾊﾅ差②着。今年はジャパンCを制するほどパワーアップし、秋に2戦しただけ。まだまだ活力にあふれている。明けて6歳時は世界へ遠征予定だが、まだまだ強くなる可能性大。少々きつい流れでも競る形になったらまずバテない。大逆転なら過去③着ナイスネイチャ▲

9—13
9—12
12—13
6—9
9—11
5—9
4—9
複⑨
単⑨

春先まではどことなくひ弱さのあったヒシハヤヒデが、この秋急成長。大きくパワーアップしてきた。菊花賞でのウイニングチケットとの1秒差はそのまま実力差。古馬相手でもグランプリ最短距離。

菊花賞後ジックリと調整が出来たヒシハヤヒデの状態は文句なし。折り合いがつくようになり、[8]枠13番は全く苦にならない。3～4番手追走の理想的な展開、速い時計での決着で一気に抜け出す。